

危機時褥瘡ケアマニュアル <局所管理編>

危機発生により、ライフラインが途絶えると電動式の体圧分散マットレスのエアが抜けてしまうことや、避難所の硬い床に段ボールや毛布を敷いて生活し、避難者の活動性も低下する。そのため、危機発生後、数日経過してから褥瘡発生あるいは悪化することがある。ここでは、褥瘡の局所管理について述べる。

1. 皮膚の観察方法

発赤部位を観察した際、二重発赤（図1）や圧迫しても消退しない発赤（図2）、骨突出部から離れた位置の発赤（図3）などであった場合、発赤が悪化する可能性が考えられる。そのため、体圧分散寝具の使用を検討する。物資がない場合には、毛布やダンボール、クッション等を使用して硬い床に寝ることのないようにする。また定期的な体位変換を促す。



図1



図2



図3

2. 褥瘡を感染させない・悪化させないためのケア

褥瘡を感染させない・悪化させないためには、褥瘡部および周囲の清潔ケアが重要となる。また、危機の状況であっても可能な限り感染対策につとめる必要がある。ここでは感染対策物資がない状況をふまえて述べる。

1) 使用物品の準備・プライバシーへの配慮

基本	避難所での対応
使用物品をワゴン等に準備し、処置室やカーテン等でプライバシーを保護する。	使用物品は、床に置かないようにする。可能ならばきれいなポリ袋（コンビニのビニール袋等）内に入れて運ぶ。 処置の必要な褥瘡保有者は、可能なら一つの部屋に集約する。困難な場合は、部屋の端への移動や、バスタオルや上着で覆うなど処置が直接見えないように配慮する。

2) ドレッシング除去と褥瘡および褥瘡周囲皮膚の清潔

基本	災害発生時から 支援物資が届くまで	支援物資が届いたら
<p>・褥瘡処置の際は、PPE（手袋、エプロン、マスク）が必要</p> <p>・弱酸性洗浄剤を用いて洗浄し微温湯で洗い流す</p>	<p>・ドレッシング除去について</p> <p>手洗いでできる水・処置用の手袋がない場合には、ポリ袋（コンビニのレジ袋、パンなどが入っていたパッケージの袋等）を手袋の代用とし、素手では触らないようにする。</p> <p>ドレッシング材を除去する際は、ポリ袋を裏返しに手を入れてドレッシング材を除去し、そのままビニール袋を裏返してごみ袋とし、処置終了後に処理する。 (写真1参照)</p> <p>・洗浄剤がない場合</p> <p>創周囲の滲出液を比較的きれいな布（ガーゼやハンカチ、ウエットティッシュなど）でふき取る。</p> <p>・水道水が使えない場合</p> <p>ウエットティッシュ、ペットボトルの水やお茶を比較的きれいな布にしみこませて創周囲を清拭する。</p>	<p>水なしでケアできるスキンケア用品を使用し、ガーゼなどでふき取る。</p> <p>例) リモイスクレンズ、セキュラCL、ベータRFなど</p> <p>飲用水不足が解消されてきたら、褥瘡局所の洗浄に飲用水、ペットボトルの水やお茶を用いる。</p> <p>洗浄用のシャワーボトルの代用品として、ペットボトル（フタに穴を開けられる場合は、シャワーのように使用）、紙コップを使用する。時には消毒薬（種類による）の使用も検討する。</p> <p>褥瘡の洗浄で発生した汚水は、褥瘡サイズよりも大きめの箱を準備し、上部（蓋部分）を内側に折り込み、ポリ袋で覆い、吸水するもの（使用後の使い捨てタオル、ほぐした新聞紙等）を入れて汚水を吸収させて捨てる。</p> <p>洗浄水を入れる容器（ペットボトル、シャワーボトルなど）は、カビなどの発生予防のために、使用後は乾燥させる。</p> <p>可能ならば個人対応が望ましい。</p>

* 飲用水は救援物資の中でも比較的早く手に入るため、スキンケア専用の水を確保するのが望ましい。

3. 局所使用材料について

褥瘡発生し急性期の段階では、褥瘡予防用具も不足あるいは物資がない状況下であるため、褥瘡の悪化を懸念する。本来ならば、創は適度な湿潤環境を維持して治癒を促す。しかし、創を十分に洗浄できない場合は、感染リスクが高まるため、物資が届くまでは滲出液を吸収しドライ傾向にすることも考慮する。そのため、局所管理の安全性を優先し、外用薬の使用をすすめる。滲出液が多い場合は、ティッシュペーパーのように崩れて創に残るものは避け、崩れにくく柔らかい素材の使い捨てペーパーや布、あるいは生理用品やオムツを用いる。

ただし、生理用品やオムツ等は、本来の使用用途を優先する。また、硬いものは、局所の圧が高くなるので注意する。

- * 避難所等では、医療班メンバーが交代しておりケアの継続が困難となる。そのため、安全で簡便な管理を優先する必要がある。
- * 褥瘡発生する人は、慢性疾患の悪化や栄養不良の状態が考えられ、可能な限り早期に医療施設への受け入れを検討することが好ましい。

【注意すべきこと】

危機発生の状況で褥瘡局所を閉鎖環境にすることは、感染のリスクを上げる可能性がある。

写真 1

ポリ袋を手袋の代用とし、素手では触らないようにする。ドレッシング材を除去する際は、ポリ袋を裏返しに手を入れてドレッシング材を除去し、そのままビニール袋を裏返してごみ袋とし、処置終了後に処理する。

